さんけん新聞

発　行
ＮＰＯ法人
三段峡―太田川
流域研究会
（代表・本宮炎）

〒731－3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木 1734
☎090・
3421・3046

地元資源活用　ツアーや研修会を運営する「Drops」

三段峡や周辺の自然や歴史、文化などの資源を生かしたツアー開発や事業化を目指している「Ｄｒｏｐｓ」（ドロップス）が、ツアーや研修会などの運営に取り組み、課題の洗い出しやノウハウを蓄積している。５月には「三段峡ミュージアムツアー」と「那須古道ツアー研修会」が実施された。

ルーペ手に解説聞き 自然観察
古道に眠る歴史や技術 再発見

■三段峡ミュージアムツアー　動植物を観察するツアーに申し込んだ三原市の家族四人が五月二日、水梨口―三段滝―二段滝コースをルーペや双眼鏡を手に、本宮炎理事長の解説を聞きながら歩いた。小学生の子供が初めての三段峡を楽しみたい、と言ったのがきっかけ。「家族で貴重な体験が出来た」と喜んでいた。

ツアーは長短二コースがあり、今回は五時間のディープコース。大人六千円、子供四千円。

ルーペを覗き込んでコケを観察する家族

谷を渡る土塁橋を説明する松田孝志さん（右橋）

■那須古道ツアー研修会　太田川沿いに道路が整備される戦後まで、安芸太田町那須と流田を結んでいた山道・那須古道で五月二十九日、十三人が参加してツアー研修会が開かれた。

恐羅漢トレイルラン関係者で古道を整備した松田孝志さんがガイドし、堅牢な石垣や土塁橋の技術、たたら製鉄や林業など古道に刻まれた生活、文化、産業の歴史を体感した。行程五キロ、標高差二百メートル、全所要時間七時間、参加費千五百円。

ツアー事業化に取り組む

Drops

ドロップスは、さんけんが実施してきたツアーを事業化するため、実証実験的に取り組むグループ。本宮炎理事長と小林久哉副理事長で構成。これまでに正面口山中の石畳整備やＷＥＢサイト原色広島三段峡図鑑の制作、三段峡ミュージアムツアーやアドベンチャーツアーのコンテンツ開発、販売サイトの構築などを進めている。

学びをオリジナル手帳へ
さんけん自然塾　市間山で総勢四十人

さんけん自然塾が五月四日、二十三人の親子が参加して市間山で開かれ、トレッキングを楽しんだ。講師役の中高生三人と広大さんけん部の五人ら十七人のスタッフがサポートした。

子供たちは事前に配布した自然塾オリジナルの手帳に気付きや学びを書き留めた。帰り道では山菜を採取し、天ぷらにして春を味わった。参加者からは「危険な植物と食べられる植物があるのを知り、いい経験になった」などの感想があった。

自然塾は東京海上日動の「GreenGift 地球元気プログラム」支援事業の三年目。次回の夏で事業は終了するが、自然塾は継続する。

六月十七日
総会・「歩く会」開催

二〇二二年度通常総会を六月十七日（金）午後三時、三段峡ホテルで開く。総会に先立ち午前十時から、正面口―女夫淵間で「理事と歩く会」を実施する。

一口メモ

▼雨は適度に

五月の降雨量が極端に少なく、川底の石に茶色のコケが付いて、透明度も落ちてきた。梅雨入りし、増水すれば川が洗われて清流を取り戻す。災害を起こした昨年のような豪雨は願い下げ、適度の雨を期待する。探勝路ではチョウやトンボが舞い、さえずりで鳥の種類の多さが分かる。ウツギやアジサイも咲く。通行止めが解除され、いつもの夏を迎えたい。

三段峡の鳥たち ⑦

サンコウチョウ

長い尾羽 優美な姿

オスは全長約四十五㌢で、そのうち三十五㌢は尾羽が占めている。メスは同二十㌢足らずで尾羽も長くない。優美な姿から英語では、パラダイス・フライキャッチャーと呼ばれる。五月中旬、全国の渓流沿いのスギやヒノキなどの針葉樹と広葉樹の混交林に渡来し、繁殖する。三段峡では入り口付近で見られる。

「月・日・星」オスの声が名前の由来

オスは「ツキ・ヒ・ホシ・ホイホイホイ」と聞こえるような声でさえずり、「月・日・星」から三光鳥と名付けられた。

雌雄が協力して巣づくりする。スギなどの枝先で二又になった部分へ、木の皮やコケなどをクモの糸でくっ付け、コップ状の巣を造る。オスも抱卵し、長い尾羽を突き出している。十二日から十四日でふ化すると雌雄で給餌する。十日から十二日で巣立つ。

飛んでいる昆虫を追いかけて、器用に飛び回って捉える。が、地上に降りるのは苦手で、水面ギリギリを飛びながら水浴びをする。

一般に鳥類はオスが美しい色彩や飾り羽を持っていて、メスが綺麗なオスを選び、オスが進化すると考えられている。長い尾羽は海を渡るときには邪魔にしかならず、不利になると思われるが、メスに持てないと子孫が残せない。背に腹は代えられない伊達男の悩みと言ったところだろうか。（上野吉雄）

さんけん活動 側面支援　この人

大江　昭典さん

安芸太田町筒賀生まれ。広島県子ども会連合会長。「わが子がお世話になった町へお返し」と、子ども会やＰＴＡ活動などで尽力している。本職は消防士。イノシシ猟や渓流釣り、山菜採りなど、里山の四季を楽しむ。

さんけんが実施したジュニアリーダー研修に協力。「さんけんは頑張っているが、町民への浸透はまだまだ」と率直に語る。加計高校生が登場する６月26日の「あきおおたの楽しい100人特別編」は、同校や学生寮・黎明館との交渉役を買って出て実現した。教育委員会からの信頼も厚く、地域と学校との橋渡しをする。（炎）

第17回　あきおおたの楽しい100人　特別編

山村留学の加計高校生
夢や安芸太田への想いを語ります

６月26日（日）14：00～16：00
加計高校学生寮・黎明館（加計体育館向かい）
参加費500円（高校生以下無料・菓子飲み物付き）
主催 A-FMC↗　問い合わせ先 090-6078-0835・本宮